



アスパラガス
収穫量全国 **7** 位

きゅうり
収穫量全国 **3** 位

トマト
収穫量全国 **8** 位

桃
収穫量全国 **2** 位

日本梨
収穫量全国 **4** 位

2011.3.11

あれから6年一。

安全・安心

福島県の農産物を 応援していきます。

あれから6年。全国有数の農業県、福島県の生産者の皆様は、様々な障害を乗り越え、さらに風評に耐えながら、一歩ずつ震災前の状況に戻そうと努力を続けています。私たちは原発事故後、行政や関係機関が行ったサンプリング検査をさらに補完するために、独自に検査機器を導入、いわゆる二重、三重となる、安全性確保のための検査体制を整えました。直後は年間約6000件、現在も尚、年間3500件の検査を続けています。これまで、国が定めた安全基準を超えたものは、ひとつもありません。安全で安心、そしておいしい、我々が生まれ育った地の農産物を食卓に―。お客さまへ安心を提供しながら、生産者の皆様に応援していくことは、私たちスーパーマーケットの重要な使命です。私たちはこれからも、美しいふるさと福島県の明るい未来を願って、すべての皆様とともに努力を重ねてまいります。

水稻
収穫量全国 **5** 位

肉用牛
飼養頭数全国 **12** 位



自主検査体制について

ヨークベニマルでは、お客さまが安心してお買物ができるように、食品の自主検査を行っています。その情報は、ホームページや店舗のサービスカウンターで公開しています。

ヨークベニマル

検索

※収穫量順位は福島県農林水産の現状（平成28年7月）より

あの日から6年が経過しましたが、現在でも8万人弱の方々が避難生活をされていると聞いています。福島県民の受けた傷跡は大きく、県民の一人として、とても残念に思っています。この6年間は、私たちにとって苦難とチャレンジが続く、貴重な学びの歳月でした。震災直後、6割以上の店舗が全半壊となり、不安と恐怖の中で店長を中心に従業員全員が「お客さまのために何ができるか」を考え、昼夜を問わず邁進奔走した日々の「想い」と「経験」が、今日のヨークベニマルの支えとなっています。あの出来事は、私たちの仕事地域に必要不可欠なライフラインであることを教えてくれたのです。未だ風評が根強い、福島県産品の素晴らしさを一人でも多くの人々に理解していただけるように、行政、関係団体そして生産者の皆様は各地で地道なPR活動が続けています。私たちは全国に広がるセブン&アイグループを挙げて、それらの活動を応援するとともに、お取引先様と手を組み、東北オリジナルの商品開発・全国販売などを通じて、積極的に被災地を応援していきたいと考えています。また、私たちは震災以前から地元生産者の皆様とともに「地産地消」を推進してきました。原発事故後、その安全性確保を目的に、自主検査体制を整備し、現在も継続実践しています。今後も県産品の安全性をしっかりとサポートする取り組みと、別地域の店舗でも販売できるような新たな物流ルートの構築なども含め、地場野菜や地元商品の充実を図っていきます。困難を乗り越える時にイノベーション（革新）が生まれるといいます。そして、未来は創っていくものです。それは「目の前にあること」をひとつずつやり遂げていくところから始まると思います。しかし、まだまだ出てきていません。お客さまや生産者の皆様の声に耳を傾け、日々改善を繰り返しながら、昨日より、より良い今日を目指して、私たちは地域の皆様に育てていただいたスーパーマーケットとして歩みを進めてまいります。



株式会社ヨークベニマル
代表取締役社長
真船 幸夫

生産者の皆様が
大切に育てた農産物を
愛情こめて販売しています。



地元の契約生産者から毎日届く！

近郊野菜

ヨークベニマル各店の「地場野菜コーナー」は、担当者が一軒一軒、現地を確認して契約しています。生産者の顔が見える、人気のコーナーに成長しました。 ※店舗により品揃えが異なります。

毎日の食卓をより楽しく、
豊かに、便利に―。



「アスパラガス」

昭和40年代はじめに会津地域で始まったアスパラガス栽培。今では全国トップクラスの産地です。福島県内では90%以上が会津地域で栽培されています。



「桃」

全国2位の生産量。福島県の桃は日本のみならず世界に誇る県産品です。主力品種の「あかつき」をはじめ、たくさんの品種が生産されています。



「きゅうり」

涼しい気候が栽培に適しており県内各地で栽培されています。夏秋期の収穫量は全国1位。東北各地や東京、大阪にまで出荷されています。



あれから8年

＼全力応援！／ おいしい 福島

豊かな風土、温かい人情に育まれてきた福島県産品の品質は、国内外で高い評価を受けてきました。

しかし、東日本大震災と原発事故は、多くの人々に苦難と困難をもたらしました。

あれから8年、生産者の皆様は障害を乗り越え、風評に耐えながら、日々努力を続けています。

私たちもまた、全国に広がるセブン&アイ・グループを挙げて福島県産品の消費拡大と、地元生産者の皆様とともに「地産地消」を推進しています。

安全・安心、そしておいしい——。

官民一体となって、福島県産品を応援することは、私たちの重要な使命です。



写真は2018年の「おいしいふくしまいただきます!キャンペーン」の様子
＜主催：福島県＞

**ヨークベニマルは、これからも
福島県産品を応援してまいります。**

「米」

その豊かな気候風土から日本でも屈指の米どころ福島県。会津、中通り、浜通りと自然の特性をいかした米づくりが盛んに行われています。



「福島牛」

色鮮やかで良質の霜降りを持つ福島牛は、福島県内で肥育・生産された黒毛和種和牛です。肉質等級4等級以上のものが、福島牛として県産牛の最高ブランドに位置付けられています。



「第38漁福丸」

いわきの漁業の復興を目指して遠洋漁業を再開したいいわき市江名港所属のまぐろはえ縄船「第38漁福丸」。ハワイ南方沖のめばちまぐろの好漁場で漁を行い、年に一度、小名浜港に水揚げしています。



**福島県産品の消費拡大、
「地産地消」を推進します。**



株式会社ヨークベニマル
代表取締役社長
真船 幸夫

私はこの季節になると、身が引き締まる思いがします。東日本大震災直後、全店舗の6割以上が全半壊の被害を受けました。大きな失望をはね返して全力を尽くした記憶がよみがえります。「今、お客さまのために何ができるか。共に働く仲間たちと勇気と気概を持って、困難に立ち向かった日々を思い出します。『初心忘るべからず』と、自らを戒め、そしてまた、私たちの役割をあらためて確認するとともに、新たなチャレンジ精神が沸々と湧いてくる時でもあります。

東日本大震災と原発事故から8年。福島県産品の安全性は検査などを通じて実証されています。しかしながら、風評被害はまだ残っています。

ヨークベニマルは福島県に生まれ、福島県の皆様に育てていただいたスーパーマーケットです。そして全国に広がるセブン&アイ・グループの二員でもあります。

私たちは、福島県産品を積極的に仕入れ、販売するとともに、行政、関係団体の皆様が行っているPR活動においてもグループを挙げて支援しています。

昨年7月、ハワイ南方沖から小名浜港に水揚げされためばちまぐろを福島県内のヨークベニマルで「斉販売、また、昨年同様、福島県産品を一堂に集めた『おいしいふくしまいただきます!キャンペーン』も全店で開催させていただきました。安全・安心、おいしさ、そして素晴らしいさを多くの皆様に実感していただけたと思っています。

11月には、「福島県の東日本大震災からの復興と地域振興」をテーマに、代表者が福島県にゆかりがある大手食品・飲料メーカー様3社と手を組んで、新商品を開発、東北のヨークベニマル及びイトーヨーカドーで限定販売するなど、新たな取り組みにもチャレンジしています。

ふるさとに新しい春が訪れます。福島県の豊かな恵みは、大切な宝物です。私たちは、これまで以上に福島県産品の消費拡大の推進と、地元生産者の皆様と売場を作っている地場野菜コーナーの充実を図り、「地産地消」の取組みを強化していきます。福島県産品をみんなで応援して守つていくことで、希望が溢れるふるさとの未来を築いていきましょう。

官民一体となって一歩ずつ困難を乗り越えていくことが、本当のふるさと復興の近道である信じています。私たちに出来ることは、まだまだたくさんあるはず。多くの方々のご意見をお聞きしながら、改善と努力、チャレンジを重ねて、全ての皆様とともに歩んで参ります。

自主検査体制について

お客様に安心を提供しながら、生産者の皆様を応援することは、私たちスーパーマーケットの重要な使命のひとつと考えております。ヨークベニマルでは、行政や関係機関が行ったモニタリング検査をさらに補完するために、独自に検査機器を導入しています。それらの情報は、ホームページ、店舗のサービスカウンターで公開しています。



**毎日の食卓をより楽しく、
豊かに、便利に——。**





あれから9年

福島を 食べよう!

あの出来事で大きな被害を被った福島県産品は、地道な活動で一步步、かつての信頼を取り戻そうとしています。様々な検査でその安全性が確認されている福島県産品を応援することは、私たちの重要な使命のひとつです。官民一体となって、もっともっと応援の輪を広げていくことが、ふるさと福島の明るい未来に繋がるはずです。四季折々、福島県の豊かで多彩なおいしさは、これからも私たちを魅了してくれることでしょう。



写真は2019年の「おいしいふくしまいただきます!キャンペーン」の様子<主催:福島県>

ヨークベニマルは、
これからも福島県産品を応援してまいります。

昨年もまた、お米や野菜・果物・魚・肉・加工食品など、福島県産品を一堂に集めた「おいしいふくしまいただきます!キャンペーン」のお手伝いをさせていただきました。四季折々のおいしさ、豊かさを大勢の皆様が再確認していただけたと思います。福島県産品の安全性やおいしさを発信し続けていくことは私たちの重要な使命です。これからも「地産地消」の取組みを強化しながら福島県産品の消費拡大を図ってまいります。ふるさとをもっと元気にするために、官民一体となり、福島県産品をみんなで応援して守って行きましょう。ヨークベニマルは福島県を愛するすべての皆様とともに、新たな挑戦と取組みを重ねてまいります。

ヨークベニマルは福島県に生まれ、地域の皆様に育てていただいたスーパーマーケットです。そして全国に広がるセブン&アイ・グループの一員です。安全で安心、そしておいしい福島県産品を積極的に仕入れ、販売するとともに、行政・関係団体の皆様が行っているPR活動など、様々なシーンでも協力させていただいています。

福島県は北海道、岩手県に次いで3番目に広い面積を持ち、浜通り・中通り・会津地方と、それぞれに特徴のある自然環境に恵まれています。この土地で育まれた多彩な産品は、かつてのブランドを築き上げていきました。しかし、あの出来事がその信頼を大きく揺るがし、未だに風評に苦しめられています。生産者の皆様は9年もの間、その復興に心血を注いでいます。



株式会社ヨークベニマル
代表取締役社長
真船 幸夫

福島をもっと元気に!
安全・安心、おいしさを発信



地元の契約生産者から毎日届く!
近郊野菜
「地産地消」の取組みを推進するヨークベニマルの地場野菜コーナーは、担当が一軒一軒、現地を確認して契約しています。新鮮でおいしい、生産者の顔が見える人気のコーナーに成長しています。
※店舗により品揃えが異なります。

毎日の食卓をより楽しく、
豊かに、便利に――。

